

ティーチング・ステートメント

所属 全学共通教育部

名前 工藤 博己

作成日 2023. 3. 13

【責任】 <前期授業> 体育実技Ⅰ・人間の理解Ⅰ（健康と運動）
<後期授業> 体育実技Ⅱ
<バレーボール部顧問>

【理念】

- ・運動を通して自主性や協調性などの意識向上と実践力を身に付けさせる。
- ・失敗は成功の基であるとの理念を掲げ、積極的に取り組むように指導する。
- ・健康と運動に関する知識を深めさせ、日常生活において健康管理を実践出来るように指導する。
- ・バレーボールの活動を通して、中学・高校・大学、各ステージでの指導方法を研究し、指導の中で実践する。
三つの訓示
 - ・「一心感謝の心を忘れずに日々学ぶこと」
 - ・「信頼結束のもとに日々助け合うこと」
 - ・「有終完美を目指し日々努力すること」

【方針・方法】

・体育実技Ⅰ：体育実技Ⅱ

方針：安全に楽しく、積極的に取り組めるように工夫し、楽しい雰囲気
で実施する。

方法・準備運動を徹底し、安全に取り組めるように工夫する。
・協調性を高めさせる為に、楽しい雰囲気を作るように指導する。
・運動の特性を理解させて、基本的なスキルアップから始める。
・ルールを理解させる為に、プリントを用意し説明する。
・自己評価表を作成・活用し、個々の技術レベルを確認させて
次の努力目標につなげる。

・人間の理解Ⅰ（健康と運動）

方針：講義内容の充実を図るために資料を提示し、理解を深めるための
工夫をする。

方法・講義を通して健康と運動に関する知識を深めさせ、日常生活で
健康管理を実践できるように指導する。
・説明すると同時に質問等を受け付けて、講義内容の充実を図る。
・パワーポイントで資料を作成し、理解し易い授業を展開する。
・健康と運動のメカニズムを理解させる為に、テーマを明確に伝える。
・小テストを活用し、授業内容のフィードバックを行う。

・バレーボールの指導～方針：失敗は成功の基である事を伝え、チャレンジする事の
大切さを伝える。

- 方法・42年間の指導経験を活かし、中学・高校・大学において現地に出向き、技術指導及びメンタル指導を行う。
- ＜実績＞・中学校～札幌市中体連応援プロジェクトを立ち上げ、各中学校に出向き、各チームの課題・要望に合わせた形で指導。
- ・高校～科学大学高校での指導・アドバイス（全国大会8回出場）
 - ・大学～科学大学男子チーム（副顧問）

【成果・評価】

2022年度～体育実技Ⅰにおいて自己評価表を作成・活用したことにより全体的に積極的に取り組む姿勢が見られた。

【目標】

- ・二つの授業を通じて、健康を維持・向上させる為に必要な知識を理解させる。
- ・実際の運動を通して、体力や技術向上を図り、自主的に運動を取り入れた生活習慣を確立させる。